

じどうしつだより No. 87 (2014. 4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p>『チー口の歌』</p> <p>アリ・パーク文 ローレン・ロング絵 管啓次郎訳 クレヨンハウス 2013.12</p> <p>1110771662</p>	<p>太陽がしずみ、洞くつの壁にしがみついていた、こうもりの母と子が目を覚ました。母さんこうもりは、子どものチー口に、今夜はひとりで湖まで行き、帰ってくるようにと言いました。チー口は、こわくて泣き出しそうになります。母さんは、こうもりは目をつかわずに、感覚を上手にを使って飛び回ることができること、世界に向かって歌えば、世界が歌を返してくれ、まわりが見えてくることを、チー口にやさしく伝え、飛び立たせるのでした。</p>
<p>『ひとりでおとまりしたよるに』</p> <p>フィリパ・ピアス文 ヘレン・クレイグ絵 さくまゆみこ訳 徳間書店 2014.1</p> <p>1110796320</p>	<p>エイミーは、おばあちゃんのお家へ、ひとりで泊まりに行くことにしました。ひとりで泊まりをするのは、初めてです。3泊することにしたエイミーは、カバンの中に大事な宝物を3つ入れました。昼間はおばあちゃんと楽しく過ごしたエイミーでしたが、夜、眠りにつくと、お母さんに会いたくなってしまいました。淋しくなったエイミーは、カバンから、宝物のマットを取りだします。エイミーが乗ると、マットはふわりと浮き上がり、エイミーの家に向かったのです。</p>
<p>『犬になった王子』</p> <p>君島久子文 後藤仁絵 岩波書店 2013.11</p> <p>1110754483</p>	<p>チベットのプラ国に、勇敢で優しいアチョという王子がいました。プラ国には、羊の乳と肉のほか、食べ物がありませんでした。山の神のところに、おいしい食べ物ができる穀物のタネがあるという言い伝えを聞いた王子は、険しい道を越えて、山の神のもとへ向かいます。苦難の末、山の神に会うことができた王子でしたが、神様から、穀物のタネを持っているのは蛇王だと聞かされます。王子は、蛇王からタネを盗み出しますが、見つかって、犬にされてしまいます。犬になった王子は、神様の言葉に従い、東へと進むのでした。</p>
<p>『やくそく』</p> <p>ニコラ・デイビス文 ローラ・カーリン絵 さくまゆみこ訳 BL出版 2014.2</p> <p>1110803274</p>	<p>ある日、スリの少女がおばあさんのカバンをひったくろうとしました。すると、おばあさんは「おまえさんにやるよ。これを植えるってやくそくするからね。」と言いました。少女が、口先だけでやくそくをすると、おばあさんはカバンを手放しました。カバンを開けると、その中にはたくさんの、きれいな緑色のドングリが入っていました。そのとき、少女の心の中の、何かが変わりました。やくそくを守るため、少女は街中にドングリを植えてまわります。</p>
<p>『槍ヶ岳山頂』</p> <p>川端誠作 BL出版 2014.2</p> <p>1110803363</p>	<p>小学校5年生のぼくは、父親とともに、北アルプスの燕岳と槍ヶ岳を2泊3日で縦走します。燕岳に登ったぼくは、山頂から雲海に登る太陽を見て、次の槍ヶ岳を目指します。険しい道のりに、急な雨、ガスがかかって景色も見えない中での山登りです。来たことを後悔しながら歩いていると、ついに槍ヶ岳の山頂が見えたのです！前後の見返しには、2泊3日の縦走ルートと、山小屋のスタンプがあり、楽しめます。</p>
<p>『ぼくらのひみつけんきゅうじょ』</p> <p>森洋子作・絵 PHP研究所 2013.12</p> <p>1110715224</p>	<p>ここは、ぼくらのひみつけんきゅうじょです。棒を発見しました。さっそく、研究をはじめます。棒の上を歩いてみたら…。ぼくらは、サーカスで綱渡りをしています。なわとびをゆらすと…。ぼくらは、ジャングルへひととび。探検隊が、よろよろへびを飛び越えて前進します。いつでも、どこでも、けんきゅうなのです。子どもたちが、身近にある様々なものを使い、空想しながら遊ぶ様子が描かれています。</p>